

演題

審美インプラントにおけるトラブルとその対応

氏名 中島 康

抄録

近年インプラント治療における審美性の要求は高まり、適切な診査診断、治療術式およびメンテナンスが必要である。そのいずれかが不適切な場合、長期的な審美結果は損なわれる。インプラントポジション、周囲組織の状況、インプラント周囲炎の発症等で歯間乳頭が欠落し、粘膜の退縮により審美障害を訴える場合がある。インプラントポジションでは、いわゆる Comfort zone への埋入が必須条件であり、そこから逸脱する場合にはインプラントの再埋入を余儀なくされる。インプラント周囲の健康な歯間乳頭の成長を促進するためには、コンタクトポイントの位置、インプラント間距離、粘膜のタイプは重要であり、また隣接歯の状況、歯間乳頭の頬口蓋側の幅、アバットメントの形状、術前の歯間乳頭の高さ、経過時間も考慮しなければならない。そこで本ランチョンセミナーでは、各項目における具体的な臨床例や審美障害の背景、トラブルシューティングを提示し、日常臨床の反面教師となれば幸いである。

中島 康[なかじま やすし] DDS、PhD

【所属】

なかじま歯科医院 大阪歯科大学口腔インプラント学講座 臨床教授 ITI フェロー

【略歴】

1965 年 生まれ

1990 年 大阪歯科大学 卒業

1990 年 鶴見大学歯学部第一口腔外科 診療助手

1992 年 ハーバード大学歯学部歯周病科 客員研究員

1994 年 ベルリン大学歯学部口腔外科 客員研究員

1998 年 なかじま歯科医院開業

2000 年 福岡歯科大学口腔インプラント学講座 客員研究員

2015 年 大阪歯科大学口腔インプラント学講座 非常勤講師

2018 年 大阪歯科大学口腔インプラント学講座 臨床教授

2019 年 ARDEC アカデミー 研究員

演題

日常臨床における最先端レーザーの活用法

氏名 林美穂

抄録

昨今の歯科医療の進歩は目覚ましく、一般歯科医院においてもレーザーの普及率は高くなってきています。これまで多種類のレーザーが様々な波長でその特徴を活かして使用されてきていますが、軟・硬組織の両方へストレスなく使用できる機器は少なかったように思われます。今回ご紹介するBIOLASE社のWaterLase iPlus (Er:Cr:YSGGレーザー)は、他社では使用できない特殊な波長(2,780nm)を有し、様々な処置内容に適した数多くのチップが備えられており、優れたパワーと波長、そして噴き出す水スプレーの相乗効果により、組織に優しく治癒促進に優れた素 晴らしいレーザーであると感じています。当院では約20年前よりWaterLaseを臨床応用していますが、このレーザーは軽くてハンドリングが良いため、多くの症例で使用でき、臨床のレベルを飛躍的に向上させることができるなくてはならないレーザーであると言えます。そこで今回は、臨床例と共に使用法や特徴などをご紹介します。

【所属】医療法人 美創会 歯科・林美穂医院 理事長

WDC(Women Dentists Club)名誉会長

【略歴】

1992年 日本歯科大学歯学部卒業

1992年 九州大学歯学部歯科補綴学第一教室勤務

1994年 福岡市、ゲン歯科クリニック勤務

1998年 歯科・林美穂医院開院

2011年 歯学博士取得

演題

「GP が極める矯正治療 ～診断から始まる審美と機能の融合～」

氏名 大串 奈津貴

抄録

矯正治療を日常臨床に取り入れたいと考えながらも、「どこから始めれば良いか分からない」「診断や治療に自信がない」と悩む一般開業医(GP)は少なくない。部分矯正、咬合誘導、全顎矯正といった治療法は多岐にわたり、成功には正確な診断と適切な治療計画が不可欠である。GP が診断力を高め、シンプルかつ効果的に矯正治療を実践できれば、患者の審美的要求と機能改善に応えることが可能となる。

本発表では、GP が日常臨床に矯正治療を取り入れる際に必要な「診断のポイント」に焦点を当て、治療計画の立て方と実践的なアプローチを具体的に解説する。

- ・ 部分矯正:軽度な歯列不正に対する効率的なアプローチ
- ・ 咬合誘導:成長期の早期介入と咬合発育の管理
- ・ 全顎矯正:包括的な診断で審美と機能を改善する方法

各症例を示しながら、診断から治療計画立案、臨床手順を分かりやすく解説することで、矯正治療への一歩を後押ししたい。GP が矯正治療を実践することで患者満足度が向上し、日常臨床の可能性が広がることを願っている。

大串 奈津貴(おおし なつき)

【略歴】

2000年 鶴見大学歯学部 卒業

同年 九州大学歯学部附属病院補綴科入局 研修医

2001年 九州大学大学院歯学府 入学

2005年 九州大学大学院歯学府博士課程終了 学位取得

2007年 福岡県太宰府市にて開業

【医院名】

ハートスマイル歯科クリニック

〒818-0135 福岡県太宰府市向佐野4-1-25

TEL / FAX 092-921-7881

【所属会】

福岡豊歯会

経基臨塾

Kawazu-study club

情熱会

日本審美歯科協会

日本顎咬合学会認定医

日本矯正歯科学会

日本歯周病学会

日本口腔インプラント学会

Osseointegration Study Club of Japan(OJ)

演題

長期症例から評価する CR 修復と新製品イージーマッチの臨床実感

氏名 泥谷 高博

抄録

即日での審美障害を回復でき、しかも侵襲性が少ない治療であること、また術者の努力によりその審美的回復を向上できることから長年ダイレクトボンディングを行ってきた。

30 年以上に渡りソルベンタム合同会社(旧スリーエム)製品を使用しており 20 年を超える症例から、長期間においてもトラブルが少ない材料であると考えている。今回、新製品であるフィルテックイージーマッチ ユニバーサルコンポジットレジン(ユニバーサル シェードタイプ)のコンポジットレジンであり、3 つのシェードから直感的に選択できる構成となっている。これまでのフィルテックシュープリーム ウルトラコンポジットレジンと同様にナノフィラー技術を踏襲していることで賦形性しやすく、形が崩れにくい、簡単な研磨で滑沢性が得られその滑沢性が持続する特徴をもつ。本講演では、フィルテック TM イージーマッチの臨床所感や使い方のポイントを、同社コンポジットレジンを使用した長期症例の紹介とともにお伝えしたい。

【経歴】

九州大学歯学部 卒業

九州大学付属病院歯科放射線学教室 勤務

医療法人博玄会 ひじや歯科医院理事長 就任

九州大学歯学部臨床教授

【所属】

ひじや歯科医院

日本審美歯科協会会員

スタディグループ経基臨塾インストラクター

日本顎咬合学会認定医

近未来オステオインプラント学会指導医

演題

「硬軟組織マネジメント手術におけるテクニカルポイント」

氏名 石川知弘

抄録

このたび日本審美歯科協会 40 周年記念大会において、クインテッセンス出版から上記演題のランチオンセミナーを拝命した。筆者が歯科医師になって 37 年になろうとするが、幸いにも縁があり、分担執筆を含め、多くの機会をいただいていた。クインテッセンス出版で関わらせていただいた書籍のなかで、主なものとして『4-D コンセプトセラピー』『これでバッチリ!インプラント治療のアシスタントワーク(上・中・下巻)』『硬軟組織マネジメント大全』、そして直近では、5-D Japan の総力で完成した『5-D コンセプション 歯の保存にこだわる』が挙げられる。本セミナーでは、これらの書籍のなかで明日からすぐに役立つ情報をピックアップし、症例やビデオを通して解説したい。参加者の皆様のお役に立つことができれば幸いである。

静岡県浜松市・医療法人社団 石川歯科院長／理事長

【略歴】

1988 年 広島大学歯学部卒業

広島大学歯学部口腔外科第一講座

1990 年 静岡県浜松市内勤務

1996 年 静岡県浜松市にて石川歯科開業

2008 年 船登彰芳、北島一、福西一浩、南昌宏とともに 5-D Japan 設立

【所属・役職】

5-D Japan ファウンダー、日本臨床歯周病学会指導医

日本歯周病学会会員、日本口腔インプラント学会専門医

米国歯周病学会(AAP)会員

米国インプラント学会(AO)会員

ヨーロッパ審美歯科学会 Affiliate member(EAED)

OJ(Osseointegration Study Club of Japan)相談役

静岡県口腔インプラント研究会元会長

演題

歯科医院における洗口液の効果的な活用方法について

氏名 白土徹

抄録

近年、歯の健康への関心が高まり、歯磨剤や歯ブラシだけでなく、洗口液を日常的に使用している患者さんが多くなってきた。私の医院においても、従来から口腔衛生指導の際に患者さんへ洗口液を勧め、リピート購入される患者さんも増えている。以前は水で希釈して使用する商品を使用していたが、当院の患者層が高齢であることから、希釈の程度もコンプライアンスが確実でなかったため、原液のまま使用するモンダミンハビットプロを導入し約5年が経過している。私の医院では歯周炎の治療に力を入れているため、歯周基本治療の段階で洗口液を使用してもらうように勧めている。また、アルコールフリーで口腔粘膜への刺激が少ないため、抜歯や歯周外科手術、インプラント手術後のセルフケアにも使用している。本日は歯科治療を行う中での効果的な活用方法について説明させていただく。

【所属】白土歯科医院

【肩書き】院長・博士(歯学)

【略歴】

1996年 九州歯科大学 卒業

1996年 九州大学歯学部口腔外科学第二講座 入局

2001年 九州大学附属病院第二口腔外科 勤務

2001年 学位取得

2002年 屋久島徳洲会病院歯科口腔外科 勤務

2004年 白土歯科医院 勤務

2011年 白土歯科医院 継承

日本口腔インプラント学会

日本顎咬合学会 認定医

Osseointegration Study club of Japan(OJ) 常任理事

北九州歯学研究会

JACD

上田塾

日本審美歯科協会

経基臨塾

PABC

演題

『ホワイトニング成功の秘訣～ポーテ式ホワイトニングがきり拓く未来』

氏名 阪井国子

抄録

「美と健康」のシナジーがもたらす新たなステージへ、時代は変わろうとしています。本セミナーでは、患者様の笑顔と未来を変える「ポーテ式ホワイトニング」の可能性を余すことなくお伝えします。ポーテ式ホワイトニングはただ歯を白くするだけではありません。安全かつ効果的なこの技術は、美を入口とし、患者様の口腔ケア意識を飛躍的に高め、矯正や自費治療へとつなげることで、健康寿命を延ばす力となるのです。さらに、ホワイトニングがクリニックにもたらす恩恵は計り知れません。スタッフの成長、チーム力の強化、採用時の魅カアップ、職場の活性化——そのすべてが経営にプラスの作用をもたらします。本セミナーでは、成功事例や臨床での活用法を共有し、患者満足度を高めるための実践的なヒントをお届けします。

【所属】

株式会社ポーテ

【略歴】

1973年 大阪府出身

1992年 大阪歯科大学歯科衛生士専門学校卒業

10年間歯科医院に勤務後、フリーランスへ転向

2015年創業とともに株式会社ポーテ入社

2022年株式会社ラビット 代表取締役

2008年より母親向け歯磨き教室開講。

現在までに1200組以上の親子の指導にあたる。

ポーテ幹部・プレミアム講師として、歯磨き教室導入研修、ホワイトニング研修、物販研修、チーフ育成研修等、全国の歯科医院へ研修を行う。

【資格】

- ・歯磨き教室プロフェッショナル養成講座講師
- ・プロフェッショナルクリニカルコース認定
- ・デンタルアドバイザー認定
- ・チャイルドコーチングアドバイザー認定
- ・JPSA 認定シニアプロスピーカー

演題

日常診療に取り入れやすい審美歯科
ファイバー強化型フロアブルコンポジットレジンとホワイトニングの実践

氏名 花岡洋介

抄録

近年、MI(Minimal Intervention)の概念が世間一般にも浸透してきており、出来るだけ歯に侵襲を加えない、自分の歯を長持ちさせたいと希望する患者が増えてきたように感じる。また、テレビやYouTube等で活躍されている人の歯がとても綺麗なこともあってか、患者の審美的欲求もひと昔前に比べて格段に上がってきている。

しかしながら、MIと審美を両立させるためには、術者・患者ともに治療に際していろいろな負担(時間・技術・金銭等)が増えることも事実である。そのような中で、当院では「日常臨床に取り入れやすいMI審美歯科治療」として、「ファイバー強化型フロアブルコンポジットレジン」と「ホワイトニング」を導入している。1人歯科医師の院長として、また、患者の利益・満足度、歯科衛生士のやりがいとして、負担も軽減し、とても有効な手段だと考えている。本講演では私の臨床例を報告させていただき、日常臨床の参考にしていただければ幸いである。

【略歴】

1978年5月18日生まれ(46歳)

兵庫県姫路市出身

1998年 長崎大学歯学部入学

2006年 // 卒業

2006年 長崎大学歯学部付属病院 研修医

2007年 かんだ歯科(長崎県長崎市)勤務

2010年 医療法人真摯会 三宮クローバー歯科クリニック(兵庫県神戸市)勤務

2015年 はな歯科(兵庫県姫路市)開院

2020年 審美歯科協会入会

【所属学会・スタディグループ】

日本審美歯科協会

日本顎咬合学会

日本臨床歯科補綴学会

日本歯周病学会

日本床矯正研究会

JUC

演題

日常臨床における Er:YAG レーザーの臨床応用～感染根管処置を中心に～

氏名 倉富覚、

抄録

感染根管処置を成功に導くポイントが根管内起炎因子の徹底的な除去であることに異論を挟む余地はない。小生の臨床においても、その目的を達成するために機械的清掃の精度の向上に努めてきたつもりである。

しかし、10 年前に自身が拡大清掃を行った根管内を初めてマイクロスコープで観察した際に、あまりの汚さに愕然とし大変なショックを受けた。まさしく「言うは易し、行うは難し」であることを痛感させられ、“根管洗浄の重要性”を再認識した。その後、九州大学大学院で前田英史教授のご指導のもと、さまざまな洗浄法を用いて 300 本近い抜去歯を電子顕微鏡で観察する機会を得た。その結果を踏まえ、Er:YAG レーザーの臨床応用に関する私見を述べてみたい。先生方にとって明日からの臨床ヒントになれば幸いである。

【略歴】

1996 年 九州大学歯学部卒業
1996 年 北九州市門司区 山内歯科医院勤務
1998 年 北九州市小倉北区 下川歯科医院勤務
2001 年 北九州市小倉南区 川崎歯科医院勤務
2003 年 現在地にて開業
2018 年 九州大学歯学部臨床教授
2022 年 九州大学大学院歯学府博士課程修了

【所属団体】

日本顎咬合学会副理事長・指導医
日本歯周病学会歯周病専門医
日本臨床歯周病学会認定医・歯周インプラント認定医
日本歯内療法学会
北九州歯学研究会
経基臨塾
日本審美歯科協会
スタディグループ R
SG 金曜会

演題

MI と Reintervention を考慮した審美修復治療の現在

氏名 陶山新吾

抄録

MI の概念は、2002 年に FDI(国際歯科連盟)により提唱されて以降広く浸透し、歯冠修復治療を行う際には考慮すべき概念となっている。MI の概念の中で最も浸透しているのは、う窩形成病変を最小の侵襲により修復処置を行うことである。接着歯学の進歩もあいまって、可能な限り歯を温存することが推奨されるようになってきた。歯冠修復治療が必要だと診断された場合、口腔内の様々な診断データから修復範囲や修復材料を計画していくことになる。その際、直接法であるダイレクトボンディングで処置を行うか、間接法により補綴装置を製作するかを選択することになる。私は、MI と Reintervention (再介入)の観点から可能な限り直接法であるダイレクトボンディングを選択するようにしている。今回、臨床症例を提示しダイレクトボンディングを成功させるための詳細な充填レシピと各器具を使用する際の勘所について、マイクロスコープ下で治療を行っている動画を供覧し解説したい。

【経歴】

2004 年 福岡歯科大学 26 期卒業
2004 年 福岡歯科大学 歯周病科入局
2007 年 川崎歯科医院(熊本市)勤務
2013 年 陶山歯科医院 継承
2014 年 川峯塾 インストラクター

【所属】

日本歯周病学会 会員
日本口腔インプラント学会 会員
日本顎咬合学会 会員
日本臨床歯科学会 会員

演題

プラズマ処理が与える歯科臨床への効果 ～科学的背景と臨床応用について～

氏名 松永興昌

抄録

一般的にプラズマという言葉は、よく耳にする。歯科界においては、あまり馴染みの無い言葉であるが、グローバルなさまざまな分野では幅広く用いられている。

Actilink Reborn は、歯科用金属や修復物等にプラズマ処理を行い、清潔性を保って生体親和性や接着性を向上させることができる。これまで、歯科臨床においてプラズマを用いた手技は、見る事がなかった。本公演では、プラズマの基本から臨床応用の現状を報告するとともに、今後のプラズマ処置の可能性を解説する。

【所属】

松永歯科クリニック 院長

日本口腔インプラント学会会員 代議委員

日本補綴歯科学会専門医

日本歯科審美学会評議委員

ITI 国際インプラントチーム会員

オッセオインテグレーションアカデミー会員

福岡歯科大学 咬合修復学講座 冠橋義歯学分野 臨床教授

【略歴】

平成 6 年 3 月 福岡歯科大学卒業

平成 11 年 4 月 九州歯科大学大学院歯学研究科卒業

平成 16 年 9 月 ニューヨーク大学口腔インプラント科卒業

平成 23 年 4 月 福岡歯科大学咬合修復学講座 環境義歯学分野 臨床教授

平成 23 年 6 月 松永歯科クリニック開院

演題

Aidite の新素材 3Dpro ジルコニアと Biomic ステインの革新

氏名 山田 泰寛

抄録

本セッションでは、Aidite 社のマテリアル、3D pro zir ジルコニアディスクと Biomic Stain&Glaze の特性について詳述し、これらの材料を用いた最新のテクニックを紹介する。

3D pro zir は、高い強度と優れた審美性を兼ね備えた材料である。また、優れた耐久性と生体適合性により、長期的な使用が可能であり、患者様の満足度向上に寄与する。

一方、Biomic Stain&Glaze は、ジルコニアに自然な色合いと光沢を与えるための材料であり、ジルコニア表面に施すことにより審美的な仕上がりが実現し、患者様のニーズに応えることができる。本セッションで、これらの特性を活かした具体的なテクニックや臨床応用例を示すことで、従来の築盛方法ではなく新たな可能性を感じ取ってもらいたい。

3D pro zir、Biomic は今後の歯科医療の未来に貢献するマテリアルである。

【所属】

evolution lab. 代表

日本口腔インプラント学会会員

日本口腔インプラント学会認定インプラント専門技士

日本臨床歯科 CAD/CAM 学会会員

DESC メンバー

【略歴】

九州歯科技工専門学校卒業

歯科技工所、歯科医院の勤務を経て evolution lab.(福岡県宗像市)開業